



彩集学承（フィナーレ）を飾った2大式典の開催 ～ 綾南中学校最後の卒業式・綾南中学校閉校記念式典 ～

2日間連続で、綾南中学校63年間の歴史の節目となる大切な式典を挙げていただきました。

1つは3月11日(金)の綾南中学校として「最後となる卒業証書授与式」、もう1つは3月12日(土)の綾南中学校63年間の歴史に幕を下ろす「綾南中学校閉校記念式典」です。

文部科学省中学校学習指導要領には、教育活動の一つとして「学校行事」が位置付けられており、その中にある今回の2つの式典に代表される「儀式的行事」のねらいは以下のとおりです。

◆儀式的行事のねらい

生徒の学校生活に一つの転機を与え、生徒が相互に祝い合い励まし合って喜びを共にし、決意も新たに新しい生活への希望や意欲をもてるような動機付けを行い、学校、社会、国家などへの所属感を深めるとともに、厳かな機会を通して集団の場における規律、気品のある態度を育てる。

※ アンダーライン：筆者

今回の卒業証書授与式においては、上記のねらいに即して開催直前まで在校生の参列を計画しておりましたが、香川県の感染症拡大の時期と重なり、断念しリモートによる参加といたしました。しかし、閉校記念式典には1・2年生全員が参列することができ、全校生徒がそれぞれに「儀式的行事」のねらいに沿って開催した式典に参加することができました。

式典中及び式典後に心に残ったことは次の3点です。

① 終始厳肅な雰囲気を作ることができたこと

背筋をぴんと張り、ステージに視線を送りながら話を聞く姿が終始見られました。日頃から本校で大切にしている「学びの作法」が、式典の中でも十分に発揮されていたと感じました。

② 卒業式の日、盛大に3年生を送り出すことができたこと

1・2年生は式には参加できなかったものの、卒業式後の見送りでは、在校生全員で「学校としての一体感」をもって盛大に送り出すことができました。また、吹奏楽部が感染症対策を講じながら短期間で練習を重ね、美しい音色で見送りを華やかに彩ることができました。

③ 締めくくりに相応しい歌声を響かせられたこと

卒業式では3年生が式典の最後に校歌を、式典後に学年団合唱（群青）を披露しました。一方、閉校記念式典では、1・2年生が式典の最後に校歌を歌いました。

コロナ禍において、全校で練習を行うことが極めて困難な状況下ではありましたが、綾南中学校が63年間の歴史の中で築き上げてきた「合唱文化の集大成」ともいえるべき歌声を体育館に響かせることができました。



【卒業式 ～厳肅～】



【見送り ～盛大・一体感～】



【閉校記念式典 校旗返納 ～節目～】

その他にも、体育館内、武道場、廊下等のさまざまな場所を掲示物で彩るなど、記念すべき日を盛り上げようとする工夫が随所で見られました。「儀式的行事」のねらいを踏まえた教育的価値の高い行事として無事終えることができました。

綾南中学校という学校名がなくなる本当の意味での閉校（令和4年3月31日(木)）まであと2週間余りとなりました。新たな学校へと生まれ変わっても、綾南中学校に誇りを持ち続けることができるよう、これまで大切にしてきた綾南中学校の学校文化の数々を確認しながら、フィナーレを飾りたいと考えています。